

No.25-04 2025年2月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



教職員と教育を守る

1・15中目黒駅前宣伝を実施

1月15日(水)の中目黒駅前、「豊かな学校教育を実現させるために、教職員の労働実態を世論へ訴え、国民的課題として運動を展開する全国統一アクション」の第2弾が取り組まれました。目黒区では都教組目黒支部を軸に、目黒労協・区労連が共同で取り組み、当日は14名の組合員で1時間、宣伝行動を行いました。*以下、都教組目黒支部よりの取り組み報告です。

2回の「定時アクション」を終えて

まず何よりも、目黒労協はじめ、区内の多くの団体、個人のみなさまに感謝します。私達だけではとてもやりきれませんでした。ありがとうございました。

2度の宣伝をしながら感じたことが2つあります。

1つは、1回め(11月)と2回め(1月)の間で、現場の状況が更に厳しくなっていること。我慢してやってきたけど、もう限界…そんな叫びが聞こえてくるようでした。

もう1つは、それでも、教師は素晴らしい仕事だ、ということをもっと伝えたかったということです。どんなにきつい時でも、子どもの笑顔を見れば勇気が出ます。子どもの成長に日々驚きと感動があります。だからこそ今私達組合が踏ん張らなければと思います。子どもと学校の未来のために、これからもよろしくお願いたします。



(東京都教職員組合・目黒支部委員長)

すべての労働者に賃上げを！25春闘スタート

2025 春闘宣言・経団連包囲行動



1月17日の昼休み。300人以上で、大手町の日本経団連ビル前で集会。全労連黒沢事務局長に続き、自交総連、国交労連、東京土建、首都圏青年ユニオンなどが発言。

☆初任給は上がったが、中高年は賃下げ。これはベースアップとは言えない。☆非正規中心に賃上げ追いつかず、格差が拡大している。☆非正規春闘に30を超す労組が参加。10%以上賃上げ

を闘うなど、「すべての」労働者の賃上げが25春闘のテーマ！（めぐろユニオン/通信員）

今年も団結！目黒労協2025旗開き

1月10日(金)夕方より、「2025年 目黒労協・団結旗開き」を、土建目黒会館で開催し、組合員や関係団体より、計34名の参加がありました。以下、当日の様様を紙上紹介いたします。

輪投げ 開会前から 輪投げ練習開始！そして輪投げ本番。最優秀者には後ほど「賞状」を授与。

開会 目黒労協事務局長が司会、開会のあいさつで旗開きはスタート。

来賓あいさつ 東京地評・屋代副議長：今年は戦後80年、被ばく80年節目の年。しかしロシア・中東で戦争が続く。80年前に日本は不戦の誓いをしたはずだが、今日軍事費世界第3位に。能登地震から1年、復旧復興の状況はどうか。巳年＝脱皮を繰り返し成長する。一皮もふたかわも剥けて、生活改善が実感できる春闘を。最低賃金の引き上げを行おう。

乾杯&クラッカー 労協議長の音頭で、一斉にクラッカーも鳴らしました。その後は歓談・飲食。お料理はデリバリーのバイキング形式で。

加盟労組以外 の参加者からごあいさつ。

郵産労目黒：(元組合員)労協加盟しておらず、なかなか地域組織にまでは手が回らないでいる。

東京公害患者と家族の会：大気汚染なくす、患者を救済する。今医療費負担の救済、自己負担の現状に自動車会社と国の責任を認めさせ、ぜんそく医療費無料制度を実現しようとして「責任裁定」を闘う。目黒区でも1万人のぜんそく患者がおり、団体署名に協力を。

目黒区労連：どこも同じだが区労連の活動立ちいかなくなっている。区労連・区労協・土建目黒・区職労などの協力で、地域から闘いを強めたい。

大田区労協：大田でも旗開きを今年、久々に開催予定。大田は中小企業多く今年の春闘を頑張りたい。

目黒社保協：区内18の障がい者団体「目障懇」として、毎年目黒区長に要求している。区長は「障がい者施設を造る」と区民に約束するが、実際は土地を提供するだけ。委託施設では、職員に初任給20数万円しか払えず、非常勤職員に頼るしかない。区職員も半分は非常勤。これを正していく必要がある。



共産党区議団：公契約審議会も公開になったそうで傍聴に行きたい。下限額が他区より低い。住み続けられる報酬を公契約条例で実現したい。自公過半数割れで政治を変えるチャンス。選択的夫婦別姓・学費無償化など実現できる情勢にある。

立憲民主党区議団：公契約条例の下限報酬額、一般質問で取り上げた。障害者問題も取り組みたい。

渋谷共同法律事務所 吉田弁護士：物価高：キャベツのみならず高い。破産・倒産相談も増えている。

労協加盟労組 から参加労組すべて発言。

目黒自交労組 : 白タク＝ライドシェア問題は喫緊の課題。事故など多発。全面解禁を止めたい。

その他、JMITU 目黒地域支部、めぐろユニオン、大東通信機労組、目黒学院職組、東工大職組、目黒区職労、東京土建目黒支部から近況報告。「高齢化」「移転」「合併」「組織率低下」など厳しい状況の中でも、「若手と一緒に頑張っていきたい」「少しずつでも良くしていこう」と、2025年の抱負が話されました。

輪投げ表彰 全参加団体からの発言後、「ウェルカムゲーム・輪投げ」の表彰。最優秀者は土建目黒支部の組合員さんでした。

景品抽選会 受付時に配布したトランプを使って、当選が決定します。加盟組合より提供いただいた「景品」を多くの参加者がゲット。景品は加盟労組以外でも、労金目黒支店・こくみん共済中南支所・東京



地評様などからもご提供いただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

南部合唱団 いつもながらの、素晴らしいハーモニーです。南部合唱団を加え会場全体で40名以上に。

閉会あいさつ&団結ガンパロー 労協副議長より、「なかなか大変な現状だが、力を合わせれば何とかなる」とガンパロー三唱で締め、合唱団の演奏で「がんばろう」を全員で合唱、旗開きは幕を閉じました。

新年のスタートは七福神めぐりで 大田・池上七福神を歩いてきました

新春1月5日、めぐろユニオン・地区労事務所を維持する会などで、池上七福神巡り企画。12名参加で10時から2時間半歩き、池上本門寺周辺を一周。1時過ぎに全員でお寿司をいただき、池上駅で解散しました。

(*参加者より) **池上七福神めぐりに参加して**

池上駅に着くと、七福神めぐりの団体が何組もいて、私と同様に観光や健康のためのウォーキングを兼ねて、巡拝をする人が増えていると感じました。12名で出発し、マップを見ながら1番目から参拝する。男性陣は色紙を買い、御朱印を押印していました。きっとこの1年良い年になるのではと思います。池上の街は、道路が碁盤目のようにきれいで、風は冷たいけどお陽様は暖かで、清々しい気持ちになれたのを覚えています。どちらかのお寺では寒桜が咲いていて、花は小さいけれど、きれいなピンク色でとてもうれしくなりました。12名の参加でにぎやかに楽しく巡拝することができ、良い一日となりました。



七福神めぐりをした次の日、前回参加した横須賀ハイキングより、行程も時間もきつくないはずなのに、疲れが出てしまい、やはり年令を感じずにはられませんでした。

加盟組合や区内団体の旗開き

高砂自動車労組 旗開き

1月12日(日)に高砂自動車労組の「2025年旗開き」が、午前9時より会社駐車場内にて開催されました。



臼・杵など道具は組合所有品です

まだ感染症対策を行いながらの開催のため、いろいろ配慮しながらでの開催です。旗開き開始前から餅つきも行われ、参加者に飲み物・豚汁などと一緒に、つきたてのお餅もふるまわれました。来賓の会社社長は、「ライドシェアの全面解禁を阻止するため、労使で力を合わせよう」とあいさつ。労組委員長は、「今年も組合員みんなで協力し進めていこう」と話されました。開始当初は少なかった参加者も、乗務が終わった組合員や近隣の方なども集まり、みなさん楽しまれていました。(目黒労協/事務局)

東京土建目黒支部 新春旗開き

1月18日(土)ホテル雅叙園東京、東京土建目黒支部「2025年新春旗開き」参加者108人。目黒労協より執行委員2人で参加しました。来賓は区長をはじめ多くの議員や関連団体の役員と、華やかな会でした。区長は災害に強い目黒をつくるために東京土建の方たちと施策を進めたいと挨拶し、恒例の短歌を披露しました。「簡単な数万円の工事でも、アスベストの調査が必要となればさらに数万円の費用と日数がかかる」との来賓挨拶もあり、勉強になりました。最後は抽選会！当たった人は壇上でひとこと挨拶するのですが、私は緊張のあまりシドロモドロ。でも、用意していたのです、区長に対抗して川柳を。紙上でも披露しておきます。「公契約 最賃に抜かれ 立場なし」オソマツ。(参加した労協執行委員)



目黒区職労 新春旗開き



1月27日(月)目黒区総合庁舎の食堂で、目黒区職労の旗開きが開催され、目黒労協より執行委員2名が参加しました。区職労委員長は、昨年の人勧闘争にふれ、「若年層のベースアップはなされたが、中高年の人たちが取り残されてしまった。今年はこれを取り戻したい」と、あいさつされました。労働組合だけでなく、区より副区長など幹部の方々、区議会よりは議長など各会派の議員の方々など、多彩な参加者でした。出し物などで若い組合員から発せられるパワーは熱く、大変うらやましい限りでした。(参加した労協執行委員)

都立病院を都立直営に戻そう！ 目黒社保協の宣伝行動

年末の12月23日、目黒社保協の宣伝行動。「都立病院の独立行政法人化を見直し、都立直営に戻そう」と、広尾病院を守る会と目黒社保協で、学芸大学駅前宣伝行動。差額ベッド代が都立病院でも平均で1.4万円にも。さらに厚労省は、全国の病院にベッド1つ減らすと400万円の「ご褒美」を出して、医療費削減のためベッド数の削減に邁進しているなど、様々な日本の医療の危機的状況が訴えられました。16名参加、1時間弱で14筆の署名協力もありました。(目黒労協/事務局)



JIMTU 目黒地域支部・目黒労協 新春春闘宣伝

1月20日 JIMTU 目黒地域支部例会後の宣伝行動。「さあ春闘！大幅賃上げを」と声緒をかけると、ビラの受け取りよい。大幅賃上げ期待は高まっている。駅頭宣伝もムード作りに役立っているかと思いました。(労協事務局)



平和を！2025年最初の9の日宣伝

1月9日 2025年最初の9の日宣伝、学芸大学駅。ビラを配る手が冷たいけど、謹賀新年の商店街横断幕の下で。東京土建目黒支部、目黒労協、目黒平和委員会など13名で40分、核廃絶署名もいただきました。毎月9日17:30～学芸大学駅ほかで宣伝行動をしています。(目黒労協/事務局)

